

ビデオナービズネットとは個人規模で映像関係を業務としている事業者及びそのことに関わっている者の組織です。

公式WEB <http://www.videoner-biznet.com>

📷 10月定例会のご案内

「吉岡さんの音収録スタイル」

吉岡さんに「音の収録スタイル」について、講義をしていただきます。

映像に勝るとも劣らず、「良い音」をとるのは大事です。吉岡さんならではのやり方、注意点、こだわりから、使用機材などについて紹介していただきます。

次回定例会は

日時 2019年10月16日（水）19時～21時

場所 日暮里サニーホール 第1会議室

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5-50-5

ホテルラングウッド5階 03-3807-3211

JR・京成日暮里駅より徒歩5分

開始時間をテスト的に変更しておりますので
お間違えのないようご注意ください！

🚗 9月研修旅行のご報告

「研修旅行」

9月は毎年秋恒例の研修旅行が開催されました。写真を掲載しましたので、旅行の雰囲気を感じとってください。



9/5 宿にていよいよ宴会に入ります



9/6 宿出発前、宿の方といっしょにパチリ



9/6 鬼怒川温泉駅前にて



9/6 同じく駅前で鬼怒太（きぬた）とともに

✍️ 会員コラム

文責：脇田

高橋さん「西湘のビデオ屋稼業」

吉岡さん「よっしーのお手伝い日記」

野上さん「ビデオマンの挑戦（10月号）」

が続きます！

（文責各筆者）

西湘のビデオ屋稼業

2019.10月 高橋 昌一
(含むことあり：個人的、感覚的話し)

今回は業務とは直接結びつくことの無い映画祭点描記。

9月に行われた小田原映画祭のお手伝いをしてきた。お手伝い内容はオープニングやクロージングセレモニーの撮影と、上映後に行われるゲストトーク（監督・プロデューサー等々）の撮影が中心。もちろん上映作品の撮影はしない。

きっかけは、とある事情から事務局として、映画祭の記録映像をそれなりのクオリティで残す必要性がでてきたよう。そこで昔から面識のあった映画祭事務局長から突然声がかかり、「ならばボランティアとして」携わることになった。今年で4年目になる。

オープニング上映は毎回、小田原城内銅門で行われる。屋外ゆえ雨の心配は付きまとうが、日が暮れてからの上映も中々趣きが増されて悪くない。その上映はシネコンの専門チームが担っているのだが、音声の聴きやすさに感心しきりの私。つい担当チームの方といろいろと会話も弾んでくる。（ちなみにオープニング以外の上映は市内シネコンを中心とした屋内で行われる）

映画祭での上映作品は一般的に小田原にゆかりのあるものを中心に選定されている様子（出身監督、出身役者、居を構えていた著名人、ロケ地として等々）。その上映作品は商用ベースに恵まれないものも多いらしいが、その分独特の個性を楽しめることもある。今回、ある作品上映後の監督のゲストトークでは、広いスクリーンにまばらな客席。

「もっとお客さん動員の工夫をしたらいいのに」と内心思いながらトーク撮影を行ったが、監督の言葉は、「もっと観客が少ないものと思っていましたら予想より多かったです」とお客さんの少なさなど全く意に介さないトーク姿に、何かと感じ入るものがあった。

小田原映画祭では「ショートフィルムコンテスト」も行っていて、応募作品は年々増えてきて、かなり相当数の様子。～20分程度の作品なのだが、これが、自由に秀逸。思わず没頭してしまうことも度々。今回その中であっけにと取られた作品があった。上映開始早々から「つかみっぷり」が良く、これからの展開にいいよ期待も大きくなりながらスクリーンを見ていたら、いきなりロールテロップが上がってきて「ん？ん？？」で上映終了。思わず「やられた！」と腹の中で笑いこけた。わずか5～6分の出来事だったと思う。後の内容は各自で想像しろってことかいな！！

よっしーの休日(7) よっしーのお手伝い日記 番外編

アソシネット株式会社 吉岡

2019年9月30日

ちょっとビックリした。

赤岡さん(赤岡ビデオ企画)のお手伝いで、9月の最終週の土日、運動会が2日連続であったのだが、自分でも驚くほど体力が持っている。

3か月前、体力の無さを痛感して始めたトレーニングジム通い。3日に1回は行くことを目標に、とりあえず今もそのペースを続けている。トレーナーの意見も聞いて、内容は当初と変わっている。どちらかというと、種類と時間を減らした。

- ・最初の15分はペダルを漕ぐ有酸素運動。
- ・腹筋・背筋・太もも・胸、の筋肉を10回3セット(およそ30分)。
- ・最後は、心拍数をコントロールしながら、40分のランニング。

当初の体力と比べると、有酸素運動も5分で休憩していたり、腹筋も5回が限界だった。

上記のルーティーンも、楽にできるようになったか、と言われれば、できるようになると、重りを重くしたり、負荷を加えるので、ツライのは、まあ、ずっと変わらない。

食事制限をしているわけではない。1kgは減ったが、体重はほぼ変わらず、お腹も全然引っ込んでない。毎回、数値を記録し、分析をしているが、ほとんど横ばいで、あまり楽しくない。「これからですよ」と言われているが、どうだかね。

しかし、当初の目標だった「2日間の体力系の撮影に耐えられる体力」が、何となく得られた気分だ。疲れてないと言ったらウソだが、少し休んだ後の回復が以前と全然違うように思う。

運動会が終わった後も、アキバに行って買い物をする気力が残っている。月曜日の今日も、疲労は残っているが、普通に生活ができる。

これから、運動会シーズンも本番を迎える中、ちょっと自信がついて良かった。

3か月前と、今と、比較写真がありますが、ご覧になりたい方、いらっしゃいますか? ※閲覧注意です。

ビデオマンの挑戦 (10月号)

八王子映像ビデオマン : Isomitsu Nogami 2019.9.26

鬼怒川研修旅行

9月5・6日の鬼怒川温泉研修旅行に参加した。宿泊も4名に別れてメンバー8名と楽しい旅行が出来た。到着後ソバ屋で腹ごしらえをして駅前の観光協会で鬼怒川ライン下り・日光さる軍団、宿泊先の所在地などチェックを行った。私は今回で3回目の旅行である。仕事も一段落した所で更に向上させようと意欲は高まっている。ビズネットのお蔭で今回の仕事も出来たと感謝している。多分お人柄で天真爛漫に体ごと当たって砕けろの精神で挑戦し続ける事でいろいろな問題を解決できるのだと思う。その意味でメンバーの個性や仕事への姿勢などもようやくつかめたように思う。寝起きを共にすることで心と心が触れ合うのだろう、一緒に風呂に入って裸道志で話をすれば大概人間関係は良好になるのは自然なことだ。仕事を考えると誰でも真剣であるだろう、若いも若きもそれは人間として大切にしたいビジネスマインド(魂)ではないだろうか? ポジティブ思考で物事をやっています。



[鬼怒川ライン下り友達のみ 30 秒 \(Facebook\)](#)

[お猿さんの運試し\(youtube\)限定公開 203 秒](#)

ZOOM ズーム リニア PCM/IC ハンディレコーダー H6



これは IC レコーダーです。左の絵は研修旅行ならではのなぜオプションを購入したかの説明となりますがこれは音のミキサーとも考えることが出来ると Y 氏が説明してくれた。何故ならば同時に本来の音と-12db 下げたもう 1 つのファイルを録音できるのだ。万が一割れた音に対してデータを予め録っておける。稼いだお金を迷わずこの H6 の購入に投資した。カメラの進化も早いですが音の世界も同様のようだ。4 系統 + 2 系統のオプションで 6 系統の音を同時に収録できる優れたものになった。音のバリエーション; ステレオ間音の右から左に流れる(付属のアクセサリ) 録音等については youtube にアップされているのを参考にして購入した。

映像は音も絵と同じく大切な要素であることを学んでいる新米ビデオマンです。

ご清聴誠にありがとうございますございました蛇足ですが SNS に加入していないと見れません。

文責 : 野上五十満